

志小安全・防災だより



バックナンバーは本校 Web ページ (QR コード) でご覧いただけます。

R2. 3.24 NO.44

安全・防災担当: 早坂 潤

第2回徒歩通学(登下校)指導も終わりあとは4月を迎えるのみ

新型コロナウイルス感染拡大のために、2月28日で平成31年度(令和元年度)の教育活動が幕を閉じた状態となってしまいました。そのような中でも、4月からスタートする徒歩通学への準備を安全に進められたことは、保護者の皆様、地域の皆様そして関係機関の皆様のご協力のおかげです。今後、学校では令和2年度に向けて、保護者の皆様や地域の皆様からいただいたご意見等を基に徒歩通学指導の見直しを図り、子どもたちが安心して通学ができるように細心の注意を払っていきます。これまでのご協力、ご支援、大変ありがとうございました。



南三陸警察署の生活安全課の方も沼田のふれあいセンターより子どもたちと一緒に歩いてくださいました。



高学年の友達は、自分よりも下の学年の友達にもしっかり目を配りながら登下校に臨むことができました。



保護者の皆様も子どもたちと一緒に歩いてくださり、登下校時の安全な歩き方の声掛けをしてくださいました。

徒歩通学に係る通学路について大勢の目で点検を行いました

3月5日に、警察署の交通安全課、役場の建設課、沼田地区の保護者の方々と一緒に、沼田ふれあいセンター周辺の通学路点検を行いました。点検では、危険箇所のチェックの他に今後必要とする横断歩道の設置場所の確認を行いました。

交通安全課では、横断歩道をこの場所への設置を考えていました。ただ、登校時の交通量とスピードを出してくる車が多いことも話題となりました。



安全のため山内鮮魚店寄りで横断する。

横断歩道と横断歩道の間は100メートル以上ないと設置できないそうです。



前の山内鮮魚店寄りに横断歩道の必要性が出されました。ただ、ここは民家の出入り口前であることと道路の植木が問題となるそうです。

他に道路標示の必要性、通学路を示す看板等の設置についても話が出され、横断歩道の設置とともに検討していくとのこと。安全な通学路になるよう今後も意見を出し合っていきます。